

注3

大学番号：私004

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

日本医療大学大学 保健医療学部 診療放射線学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本医療大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学生・教員サポートグループ

職名・氏名 サンヨ ツルタ ヒデト
参与・鶴田 秀人

電話番号 011-885-7711

（夜間） 011-885-7711

F A X 011-885-5757

e-mail h_tsuruta@nihoniryo-c.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

<診療放射線学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒004-0839

北海道札幌市清田区新栄434番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳 昭 (平成5年4月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学長代行	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学長を代行
学部長	(デンノ リュウイチ) 傳 野 隆 一 (平成26年4月)	(シマモト カズアキ) 島 本 和 明 (平成30年4月)	(30) 傳野学長が平成30年3月31日に退任のため、島本総長が学部長を代行
学科長等	(ニシヤマ アツシ) 西 山 篤 (平成28年4月)		学科長 (診療放射線学科)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 診療放射線学科 学士(診療放射線学)	保健衛生学関係	4年	50人	-	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	50人 (-) [-]	- (-) [-]	50人 (-) [-]	- (-) [-]	50人 (-) [-]	- (-) [-]	1.08倍	
志願者数	() []	() []	76人 (-) [-]	- (-) [-]	102人 (-) [-]	- (-) [-]	202人 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	74人 (-) [-]	- (-) [-]	100人 (-) [-]	- (-) [-]	187人 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	59人 (-) [-]	- (-) [-]	64人 (-) [-]	- (-) [-]	119人 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	52人 (-) [-]	- (-) [-]	53人 (-) [-]	- (-) [-]	58人 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.04倍		1.06倍		1.16倍			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	52人 [] ()	[] ()	60人 [] (7人)	[] ()	59人 [] (1人)	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	44人 [] ()	[] ()	55 [] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	43 [] ()
4年次	/						/		/
計			- [-] (-)	52人 [-] (-)	104人 [-] (7人)	157 [-] (1人)			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	52 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	1 人	0 人	一身上の都合(1人)
平成29年度	104 人	5 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	3 人	0 人	一身上の都合(3人)
			平成29年度	2 人	0 人	一身上の都合(2人)
平成30年度	157 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
合 計	313 人	6 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{52} = \boxed{1.92} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{104} = \boxed{4.8} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{157} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 診療放射線学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	生命科学	1前	1								兼1
	心理学	1前	1								兼1
	倫理学	1前		1							兼1
	生命倫理	1後		1							兼1
	宗教と思想	1前		1							兼1
	人間関係論	1前		1							兼1
	文化人類学	1後		1							兼1
	社会学	1前		1							兼1
	法学	1後		1							兼1
	教育学	1後		1							兼1
	北海道史	1前		1							兼1
	ボランティア活動	1後		1							兼1
	物理学	1前	2								兼1
	化学	1後		1		1					兼1
	生物学	1前		1							兼1
	生活と運動	1前		1							兼1
	健康とスポーツ	2前		1							兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2								兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1							兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後		1							兼1
情報科学	1前		1				1			兼1	
情報科学演習	1後		1				1			兼1	
日本語表現	1前		1							兼1	
英語Ⅰ	1前		1							兼1	
英語Ⅱ	1後		1							兼1	
英語Ⅲ	2前		1							兼1	
中国語	2前		1							兼1	
専門基礎教育科目	医学概論	1前	1								兼1
	系統解剖学	2前	2								兼1
	臨床解剖学	2後	2								兼1
	臨床解剖学演習	3前		1		1					兼1
	生理学	2後		1							兼1
	病態生理学	3前		1							兼1
	病理学	2後		1							兼1
	生化学	2前		1							兼1
	薬理学	2前		1							兼1
	臨床薬理学	2後		1							兼1
	衛生学	1後		1							兼1
	公衆衛生学	1後		1							兼1
	臨床医学概論	2後	2								兼1
	臨床医学演習	3前		1							兼1
	放射線科学概論	1前		1		2					兼1
	診療放射線学概論	1後		1		1		1			兼1
	放射線生物学	2前		2							兼1
	放射線生物学演習	2後		1							兼1
	放射線物理学	1後		2		1					兼1
	放射線物理学演習	2前		1		1					兼1
	放射線物理学実験	2前		1		2		1			兼1
	放射化学	2前		2		1					兼1
	放射化学演習	2後		1		1					兼1
	電気・電子工学	2前		2		1					兼1
	医用工学	2後		2		1					兼1
	医用工学実験	2前		1		2		2			兼1
放射線計測学	3前		2		1					兼1	
放射線計測学演習	4前		1		1					兼1	
基礎看護学	2前		1							兼1	
医療コミュニケーション学	1後		1		1					兼1	
チーム医療論	2後		1							兼1	
医療経済学	2前		1				1			兼1	
臨床心理学	2後		1							兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	生命科学	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	生命倫理	1後		1								兼1
	宗教と思想	1前		1								兼1
	人間関係論	1前		1								兼1
	文化人類学	1後		1								兼1
	社会学	1前		1								兼1
	法学	1後		1								兼1
	教育学	1前		1								兼1
	北海道史	1前		1								兼1
	ボランティア活動	1後		1								兼1
	物理学	1前	2									兼1
	化学	1後		1		1						兼1
	生物学	1前		1								兼1
	生活と運動	1前		1								兼1
	健康とスポーツ	2前		1								兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2									兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1								兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後		1								兼1
情報科学	1前		1					1			兼1	
情報科学演習	1後		1					1			兼1	
日本語表現	1前		1								兼1	
英語Ⅰ	1前		1								兼1	
英語Ⅱ	1後		1								兼1	
英語Ⅲ	2前		1								兼1	
中国語	2前		1								兼1	
専門基礎教育科目	医学概論	1前	1									兼1
	系統解剖学	2前	2									兼1
	臨床解剖学	2後	2									兼1
	臨床解剖学演習	3前		1		1						兼1
	生理学	2後		1								兼1
	病態生理学	3前		1								兼1
	病理学	2後		1								兼1
	生化学	2前		1								兼1
	薬理学	2前		1								兼1
	臨床薬理学	2後		1								兼1
	衛生学	1後		1								兼1
	公衆衛生学	1後		1								兼1
	臨床医学概論	2後	2									兼1
	臨床医学演習	3前		1								兼1
	放射線科学概論	1前		1		2						兼1
	診療放射線学概論	1後		1		1		1				兼1
	放射線生物学	2前		2								兼1
	放射線生物学演習	2後		1								兼1
	放射線物理学	1後		2		1						兼1
	放射線物理学演習	2前		1		1						兼1
	放射線物理学実験	2前		1		2		2				兼1
	放射化学	2前		2		1						兼1
	放射化学演習	2後		1		1						兼1
	電気・電子工学	2前		2		1						兼1
	医用工学	2後		2		1						兼1
	医用工学実験	2前		1		2		2				兼1
放射線計測学	3前		2		1						兼1	
放射線計測学演習	4前		1		1						兼1	
基礎看護学	2前		1								兼1	
医療コミュニケーション学	1後		1		1						兼1	
チーム医療論	2後		1								兼1	
医療経済学	2前		1				1				兼1	
臨床心理学	2後		1								兼1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必	選	自	教	准	講	助	助			
												兼	担
基礎教育科目	生命科学	1前	1										兼1
	心理学	1前	1										兼1
	倫理学	1前		1									兼1
	生命倫理	1後		1									兼1
	宗教と思想	1前		1									兼1
	人間関係論	1前		1									兼1
	文化人類学	1後		1									兼1
	社会学	1前		1									兼1
	法学	1後		1									兼1
	教育学	1後		1									兼1
	北海道史	1前		1									兼1
	ボランティア活動	1後		1									兼1
	物理学	1前	2										兼1
	化学	1後		1		1							兼1
	生物学	1前		1									兼1
	生活と運動	1前		1									兼1
	健康とスポーツ	2前		1									兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2										兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1									兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後		1									兼1
情報科学	1前	1						1				兼1	
情報科学演習	1後	1						1				兼1	
日本語表現	1前		1									兼1	
英語Ⅰ	1前		1									兼1	
英語Ⅱ	1後		1									兼1	
英語Ⅲ	2前		1									兼1	
中国語	2前		1									兼1	
専門基礎教育科目	医学概論	1前	1										兼1
	系統解剖学	2前	2										兼1
	臨床解剖学	2後	2										兼1
	臨床解剖学演習	3前		1		1							兼1
	生理学	2後		1									兼1
	病態生理学	3前		1									兼1
	病理学	2後		1									兼1
	生化学	2前		1									兼1
	薬理学	2前		1									兼1
	臨床薬理学	2後		1									兼1
	衛生学	1後		1									兼1
	公衆衛生学	1後		1									兼1
	臨床医学概論	2後	2										兼1
	臨床医学演習	3前		1									兼1
	放射線科学概論	1前	1			2							兼1
	診療放射線学概論	1後	1		1		1						兼1
	放射線生物学	2前	2										兼1
	放射線生物学演習	2後		1									兼1
	放射線物理学	1後	2			1							兼1
	放射線物理学演習	2前		1		1							兼1
	放射線物理学実験	2前	1		2		1						兼1
	放射化学	2前	2			1							兼1
	放射化学演習	2後		1		1							兼1
	電気・電子工学	2前	2			1							兼1
	医用工学	2後	2			1							兼1
	医用工学実験	2前	1		2		2						兼1
放射線計測学	3前	2			1							兼1	
放射線計測学演習	4前		1		1							兼1	
基礎看護学	2前	1										兼1	
医療コミュニケーション学	1後	1			1							兼1	
チーム医療論	2後	1										兼1	
医療経済学	2前		1				1					兼1	
臨床心理学	2後		1									兼1	
診療画像技術学概論	2前	1						1				兼1	
診療画像技術学Ⅰ(一般撮影)	2後	2						1				兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必	選	自	教	准	講	助	助			
												兼	担
基礎教育科目	生命科学	1前	1										兼1
	心理学	1前	1										兼1
	倫理学	1前		1									兼1
	生命倫理	1後		1									兼1
	宗教と思想	1前		1									兼1
	人間関係論	1前		1									兼1
	文化人類学	1後		1									兼1
	社会学	1前		1									兼1
	法学	1後		1									兼1
	教育学	1前		1									兼1
	北海道史	1前		1									兼1
	ボランティア活動	1後		1									兼1
	物理学	1前	2										兼1
	化学	1後		1		1							兼1
	生物学	1前		1									兼1
	生活と運動	1前		1									兼1
	健康とスポーツ	2前		1									兼1
	数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2										兼1
	数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1									兼1
	数学Ⅲ(統計学)	1後		1									兼1
情報科学	1前	1							1			兼1	
情報科学演習	1後	1							1			兼1	
日本語表現	1前		1									兼1	
英語Ⅰ	1前		1									兼1	
英語Ⅱ	1後		1									兼1	
英語Ⅲ	2前		1									兼1	
中国語	2前		1									兼1	
専門基礎教育科目	医学概論	1前	1										兼1
	系統解剖学	2前	2										兼1
	臨床解剖学	2後	2										兼1
	臨床解剖学演習	3前		1		1							兼1
	生理学	2後		1									兼1
	病態生理学	3前		1									兼1
	病理学	2後		1									兼1
	生化学	2前		1									兼1
	薬理学	2前		1									兼1
	臨床薬理学	2後		1									兼1
	衛生学	1後		1									兼1
	公衆衛生学	1後		1									兼1
	臨床医学概論	2後	2										兼1
	臨床医学演習	3前		1									兼1
	放射線科学概論	1前	1			2							兼1
	診療放射線学概論	1後	1		1		1						兼1
	放射線生物学	2前	2										兼1
	放射線生物学演習	2後		1									兼1
	放射線物理学	1後	2			1							兼1
	放射線物理学演習	2前		1		1							兼1
	放射線物理学実験	2前	1		2		2			2			兼1
	放射化学	2前	2			1							兼1
	放射化学演習	2後		1		1							兼1
	電気・電子工学	2前	2			1							兼1
	医用工学	2後	2			1							兼1
	医用工学実験	2前	1		2		2			2			兼1
放射線計測学	3前	2			1							兼1	
放射線計測学演習	4前		1		1							兼1	
基礎看護学	2前	1										兼1	
医療コミュニケーション学	1後	1			1							兼1	
チーム医療論	2後	1										兼1	
医療経済学	2前		1					1				兼1	
臨床心理学	2後		1									兼1	
診療画像技術学概論	2前	1							1			兼1	
診療画像技術学Ⅰ(一般撮影)	2後	2							1			兼1	

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

・平成28年4月「人間関係論」の兼任講師を変更。

【平成29年度】

・学修効果向上のため、「教育学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
 ・平成29年4月「北海道史」の兼任講師を変更。
 ・平成29年4月「英語Ⅱ」の兼任講師を変更。
 ・平成29年4月「英語Ⅲ」の兼任講師を変更。
 ・担当教員充実のため、「薬理学」の兼任講師を「兼1」から「兼4」に変更。
 ・担当教員充実のため、「臨床薬理学」の兼任講師を「兼1」から「兼4」に変更。
 ・担当教員充実のため、「放射線物理学実験」の専任教員等「講師1」から「講師2」に、「兼1」から「兼2」に変更。
 ・担当教員充実のため、「電気・電子工学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
 ・担当教員充実のため、「医用工学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
 ・担当教員充実のため、「医用工学実験」の兼任講師を「兼0」から「兼2」に変更。
 ・担当教員充実のため、「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任講師を「兼3」から「兼5」に変更。
 ・担当教員充実のため、「診療画像機器学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。

【平成30年度】

・「公衆衛生学」の兼任講師を変更。
 ・「臨床医学演習」の兼任講師を変更。
 ・「医学概論」の兼任講師を変更。
 ・「病態生理学」の兼任講師を変更。
 ・「病理学」の兼任講師を変更。
 ・「物理学」「放射線物理学実験」の兼任講師を変更。
 ・「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任講師を変更し、兼任講師を「兼5」から「兼4」に変更。
 ・担当教員充実のため、「超音波検査学」の兼任講師を「兼0」から「兼1」に変更。
 ・担当教員充実のため、「診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)」の兼任講師を変更し、「兼3」から「兼5」に変更。
 ・担当教員充実のため、「診療画像機器学演習」の兼任講師を「兼0」から「兼3」に変更。
 ・担当教員充実のため、「診療画像機器学実験」の兼任講師を「兼1」から「兼5」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
63 科目	41 科目	0 科目	104 科目	63 科目 [0]	41 科目 [0]	0 科目 [0]	104 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{104} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(借用地) 運動場 面積：13,710㎡ 期間：20年 駐車場 面積：3,058㎡ 期間：1年自動 更新			
	校舎敷地	29,831㎡	0㎡	0㎡	29,831㎡				
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡				
	小 計	43,541㎡	0㎡	0㎡	43,541㎡				
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡				
	合 計	46,599㎡	0㎡	0㎡	46,599㎡				
(2) 校 舎		専 用 16,060.03㎡ (5,623.13㎡)	共 用 0.00㎡ (8,630.68㎡)	共用する他の 学校等の専用 0.00㎡ (1,806.22㎡)	計 16,060.03㎡ (16,060.03㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室 4室	演 習 室 7室	実験実習室 7室	情報処理学習施設 1室 (補助職員 人)	語学学習施設 情報処理室と共用 (補助職員 人)	(28) 情報処理室は看護 学科と共用		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 保健医療学部 診療放射線学科			室 数 10 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(28) 電子ジャーナルに ついては、すべてオー プンジャーナル	
	保健医療学部 診療放射線学科	2,577[129] (2,154[52]) (1,931[50]) (1,815[49]) (1,767[49])	63[25] 12[4] 13[5] 18[5]	5[5] 8[8] (3[3]) (5[5]) (4[4])	33 (31) (26) (33)	834 (834)	25 (25)		
	計	2,577[129] (2,154[52]) (1,931[50]) (1,815[49]) (1,767[49])	63[25] 12[4] 13[5] 18[5]	5[5] 8[8] (3[3]) (5[5]) (4[4])	33 (26) (33)	834 (834)	25 (25)		
(6) 図 書 館		面 積 328.34㎡	閱 覧 座 席 数 80席	収 納 可 能 冊 数 29,160冊				(28) 図書館は看護学科 と共用	
(7) 体 育 館		面 積 660.00㎡ (該 当 な し)	体育館以外のスポーツ施設の概要						(28) 体育館は看護学科 と共用
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,818千円	3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	70,662千円	2,000千円	2,000千円	
	学生1人 当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,400千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、補助金等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称		日本医療大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	理學と作業の合算
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部									
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハ・リハビリ学)	0.73	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハ・リハビリ学)	0.97	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハ・リハビリ学)	0.49	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.08	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学の名称		〇〇短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	(該当なし)
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 診療放射線学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	スミヨン タカシ 住吉 孝 (67) 平成28年4月									
		化学 放射線物理学 放射線物理学演習 放射化学 放射線計測学 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 卒業研究									
専	教授	ワタナベ ヨシハル 渡邊 良晴 (68) 平成30年4月									
		放射線治療技術学概論 放射線治療技術学 放射線治療計測学 放射線治療技術学演習 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底) 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 放射線技術学特別講義※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究									
専	教授	ニシヤマ アツシ 西山 篤 (65) 平成28年4月									
		放射線科学概論 診療放射線学概論 電気・電子工学 医用工学 診療画像機器学 診療画像機器学演習 医用工学実験 診療画像機器学実験 総合演習Ⅰ(専門基礎領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究									
専	教授	カワハラダ ヤスヒロ 河原田 泰寿 (66) 平成29年4月									
		放射線計測学演習 放射線安全管理学 医療機器安全管理学 放射線カウンセリング学 医用工学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究									
専	教授	ヒグチ ケンタ 樋口 健太 (46) 平成28年4月									
		医療コミュニケーション学 放射化学演習 臨床解剖学演習 画像診断学Ⅱ (胸部・心大血管・消化器他) 画像診断学Ⅲ(演習) 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 総合演習Ⅱ(臨床領域) 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究									
専	教授	タワラ ノリユキ 俵 紀行 (43) 平成28年4月									
		放射線科学概論 診療画像技術学Ⅱ(造影検査) MRI検査学 画像解剖学Ⅱ (MRI・超音波・造影画像) 医療安全管理学 放射線物理学実験 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像機器学実験 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 卒業研究									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士 (39) 平成28年4月										
		中国語 日本語表現										
兼任	講師	コウダ トシアキ 幸田 敏明 (58) 平成28年4月								兼任	講師	コウダ トシアキ 幸田 敏明 (60) 平成30年4月
		生命科学 関係法規										生命科学 関係法規 臨床医学演習
兼任	講師	ハマジマ イズミ 浜島 泉 (79) 平成31年4月										
		応急処置法(演習)										
兼任	講師	サカイ カズユキ 坂井 千之 (63) 平成28年4月										
		法学										
兼任	講師	スズキ トシマサ 鈴木 敏正 (68) 平成28年4月										
		教育学										
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵 (33) 平成28年4月				兼任	講師	ヨコシマ コウジ 横島 公司 (43) 平成29年4月				
		北海道史						北海道史				
兼任	講師	ヤマシタ コウキ 山下 浩紀 (52) 平成28年4月										
		ボランティア活動 チーム医療論										
兼任	講師	クワバラ オサム 桑原 修 (66) 平成28年4月								兼任	講師	サトウ カズヒロ 佐藤 和宏 (64) 平成30年4月
		物理学 放射線物理学実験										物理学 放射線物理学実験
兼任	講師	ハシモト シゲル 橋本 茂 (52) 平成28年4月								兼任	講師	ハシモト アリ 橋本 あり (51) 平成30年4月
		医学概論 臨床医学演習										医学概論
兼任	講師	ウカイ ワタル 舘飼 渉 (49) 平成28年4月										
		生物学										
兼任	講師	ホンダ リサ 本多 理紗 (38) 平成28年4月										
		生活と運動 健康とスポーツ										
兼任	講師	イトウ タカアキ 伊東 孝明 (65) 平成28年4月										
		数学Ⅰ(指数・対数・三角関数) 数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式) 数学Ⅲ(統計学)										
兼任	講師	セナハ イクコ 瀬名波 郁子 (53) 平成28年4月										
		英語Ⅰ										
兼任	講師	小林サリー・マスミ (71) 平成29年4月				兼任	講師	ゼフ・ブルックリン (53) 平成29年4月				
		英語Ⅲ						英語Ⅱ				
兼任	講師	ゼフ・ブルックリン (52) 平成28年4月				兼任	講師	小林サリー・マスミ (72) 平成29年4月				
		英語Ⅱ						英語Ⅰ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	イノウエ カオル 井上 肇 (63) 平成29年4月									
		系統解剖学 臨床解剖学									
兼任	講師	マツヤマ キヨジ 松山 清治 (60) 平成29年4月									
		生理学									
兼任	講師	タケダ サトエ 竹田 里江 (42) 平成30年4月							兼任	講師	サトウ タツヤ 佐藤 達也 (38) 平成30年4月
		病態生理学									病態生理学
兼任	講師	イシヅ アキヒロ 石津 明洋 (51) 平成29年4月							兼任	講師	スズモリ ヒロユキ 杉森 博行 (40) 平成30年4月
		病理学									病理学
兼任	講師	ハタケヤマ シゲツグ 畠山 鎮次 (51) 平成29年4月									
		生化学 臨床医学概論									
兼任	講師	ヨシオカ ミツヒロ 吉岡 充弘 (58) 平成29年4月									
		薬理学 臨床薬理学									
兼任	講師	クワバラ ミキノリ 桑原 幹典 (73) 平成29年4月									
		放射線生物学 放射線生物学演習									
兼任	講師	カツウラ ヒデノリ 勝浦 秀則 (67) 平成29年4月				兼任	講師	カツウラ ヒデノリ 勝浦 秀則 (69) 平成29年4月			
		医療職としての責任と役割 核医学検査機器学 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)						医療職としての責任と役割 核医学検査機器学 診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)			
兼任	講師	フジタ サトシ 藤田 智 (52) 平成29年4月							兼任	講師	フジタ サトシ 藤田 智 (55) 平成30年4月
		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)									診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)
兼任	講師	ヨコヤマ ヒロイチ 横山 博一 (66) 平成29年4月							兼任	講師	ヨコヤマ ヒロイチ 横山 博一 (68) 平成30年4月
		診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)									診療画像技術学実験Ⅰ (X線検査) 診療画像技術学実験Ⅱ (CT・超音波・眼底)
兼任	講師	サカモト オサム 坂本 修 (68) 平成30年4月									
		放射線治療機器学 診療画像機器学実験									
兼任	講師	ミヤシタ ソウジ 宮下 宗治 (63) 平成31年4月									
		放射線技術学特別講義※									
兼任	講師	コデラ シュウイチ 小寺 秀一 (55) 平成31年4月									
		放射線技術学特別講義※									
兼任	講師	タケダ ヒロミツ 武田 清光 (58) 平成31年4月									
		放射線技術学特別講義※									

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

・平成28年4月「人間関係論」の兼任講師を林英珠子から松本真由美に変更。

【平成29年度】

(記入例)

・平成29年4月「放射線物理学実験」の専任教員として藤原健祐を追加。平成29年1月AC教員審査済。
・学修効果向上のため、「教育学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
・平成29年4月「北海道史」の兼任講師を栗本瑞恵から横島公司に変更。
・平成29年4月「英語Ⅱ」の兼任講師をむろ・ブリガリから小林利一に変更。
・平成29年4月「英語Ⅲ」の兼任講師を小林利一からむろ・ブリガリに変更。
・担当の兼任講師充実のため、「薬理学」「臨床薬理学」の兼任講師として、真崎雄一、堀之内孝弘、東 恒仁を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「放射線物理学実験」の兼任講師として、高木聡志を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「電気・電子工学」「医用工学」の兼任講師として、西山修輔を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「医用工学実験」の兼任講師として、西山修輔、富岡 智を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の兼任講師として、勝浦秀則を菊池 実に変更し、高木聡志、山岸仁を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「診療画像機器学」の兼任講師として、谷 裕児を追加。

【平成30年度】

・平成30年4月「公衆衛生学」の村松寧兼任講師を森謙兼任講師に変更。
・平成30年4月「臨床医学演習」の橋本茂兼任講師を幸田敏明兼任講師に変更。
・平成30年4月「医学概論」の橋本茂兼任講師を橋本あり兼任講師に変更。
・平成30年4月「病態生理学」の竹田里江兼任講師を佐藤達也兼任講師に変更。
・平成30年4月「病理学」の石津明洋兼任講師を杉森博行兼任講師に変更。
・平成30年4月「物理学」「放射線物理学実験」の桑原修兼任講師を佐藤和宏兼任講師に変更。
・平成30年4月「診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)」の横山博一兼任講師を削除し、菊池 実兼任講師を山品博子兼任講師に変更。
・担当の兼任講師充実のため、「超音波検査学」の兼任講師として、菊池 実を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「診療画像技術学実験Ⅱ(CT・超音波・眼底)」の兼任講師として、藤田智を佐藤恵美に変更し、大野 壘、菊池 実を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「診療画像機器学演習」の兼任講師として、堀田 浩、信田修彦、谷 裕児を追加。
・担当の兼任講師充実のため、「診療画像機器学実験」の兼任講師として、高木 聡、佐藤恵美、菊池 実、鎌田憲光を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡易書式で記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 認可で設置された学部の兼任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を挙げずに専任教員として授業を担当することは出来ません。
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
6	0	4	0	10	6	0	4	0	10	6	0	4	0	10
-4	0	-2	0	-6						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員要員を要員済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = 100 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{4}{10} = 40 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		なし								
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		なし								
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{10} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画																																																
設置時 (28年4月)	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。なお、准教授及び助教が配置されていない計画となっているが、教員の科目負担等を考慮し、その職位の配置バランスについても留意すること。</p>	留意事項	<p>(28) 定年年齢（65歳）を超えて採用した専任教員及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。教員任用にあたっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。</p> <p>(29) 以下に記載する29年2月に付された改善意見への履行状況のとおり対応する。</p> <p>(30) 29年度と同様に対応する。</p>	未履行																																																
設置計画履行状況 調査時 (29年2月)	<p>・保健医療学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	改善意見	<p>(29) 現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。 (職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在)</p> <table border="1" data-bbox="730 969 1010 1238"> <thead> <tr> <th></th> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30~39</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>40~49</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>50~59</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>60~64</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>65~69</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		教授	准教授	講師	助教	計	30~39			2		2	40~49	2				2	50~59			2		2	60~64						65~69	4				4	70以上						計	6		4		10	未履行
	教授	准教授	講師	助教	計																																															
30~39			2		2																																															
40~49	2				2																																															
50~59			2		2																																															
60~64																																																				
65~69	4				4																																															
70以上																																																				
計	6		4		10																																															
設置計画履行状況 調査時 (30年2月)	<p>・保健医療学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>教員組織編製の将来構想は、教員任用規程に基づき学内の講師の専任教員を准教授に昇任するほか、退職する教授の後任は、年齢構成を考慮し50歳代の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用にあたっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。さらに、職位と年齢構成を考慮して30歳代～40歳代の助教・講師を採用し、FDを強化し教員の育成、特に若年の専任教員の育成に努める。</p> <p>(30) 29年度と同様に対応する。</p>																																																	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保健医療学部 診療放射線学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・一般入学試験 ・推薦入学試験 	① 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、 大学入試センター試験利用入学試験を実施

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） <ul style="list-style-type: none"> ・第1回FD委員会 平成29年 6月15日（教員7人、事務職員1人） ・第2回FD委員会 平成30年 1月23日（教員7人、事務職員1人） c 委員会の審議事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価アンケートの改訂について ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施について ・教育課程の検討について ・教員研修会の実施及び授業方法の開発について
② 実施状況 <ul style="list-style-type: none"> a 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価アンケートの改訂 診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式について各学科で継続して見直しを行った。 ・学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施 授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうはたらきかけた。また、全科目集計表・必修—選択科目集計表・基礎教育—専門基礎教育—専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。 さらに、今年度から各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらい、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつながった。 ・教育課程の検討 看護学科は3年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2019年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いを行った。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。

・教員研修会の実施及び授業方法の開発

教員研修会に関しては、平成29年度は魅力あるシラバスの作成に関する学習会を実施した。

平成29年8月1日（火）14：00～16：00

参加者は公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。

b 実施方法

上記の実施内容に沿って適切に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

2回の教員研修はいずれも公務で不在の教員を除き、全教員の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度（前期・後期）も専任教員科目については継続して学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無および実施時期

・学期ごとに実施 前期7～8月 後期1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学内掲示板及び学生用ポータルサイトでアンケート結果及び学生コメントへのフィードバックを行っている。
前期分：9月 後期分：翌年度の4月

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科及び診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成29年度が開設後4年目、リハビリテーション学科は設置後3年目、診療放射線学科は設置後2年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、自己点検評価委員会は平成26年度に設置され、平成27年度から活動を始め種々の自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・本学においては、日本医療大学年報という名称で自己点検評価報告書を作成し、ホームページには当該年度の翌年下半期に掲載している。

b 公表方法

・本学ホームページに公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成31年度に評価機関（日本高等教育評価機構）評価を受けるべく、準備中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30年 8月)

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。